

評価問題例

進級式練習問題(ホップ→ステップ→ジャンプ)

ステップ問題

ゆうき君は、350円のケーキを4つ、150円のジュースを4本買いました。
はらった代金は、いくらでしょうか。

ステップ問題(中程度の問題)については、本時の学習内容を適用する問題として出題する。

ジャンプ問題

学習したことを生かして、自分で問題を作りましょう。
また、「ヒント」「考え方」などの説明の文も書きましょう。

ジャンプ問題(発展問題)については、本時の学習内容を受けて、まとまりを考えて立式するよさを活用し、作問させる。また、ヒントや解法を書かせることによって、言語化することも大切にさせたい。

児童自身が作問した問題を学級に掲示することによって、他の児童が「〇〇君問題」として意欲的に解答することになる。また、出題者と解答者がコミュニケーションを図ることによって、学習を活性化するねらいもある。

評価問題のポイント

【ステップ問題】

本時の学習を受けて、適用題として扱う。従って、本時に学んだことが他の問題でも使えることを実感させたい。

【ジャンプ問題】

ジャンプ問題は、習熟の程度の高い児童への個に応じた指導の手だてとして準備した問題であるが、いろいろな児童に挑戦させたい。また、自分で問題を作ることは、「いっしょに」にまとめて考えるよさに気づき、問題作り場面で活用する力が問われることになる。

《算数作文》

自己評価として、「算数作文」を書かせる。これは、「分かりました」「できました」という学習のまとめではなく、思考過程を振り返ることや思考過程の変容に気付くことを大切にしている。さらに、自己を肯定的に振り返ることによって、自尊感情を高めることも大切に考えている。